



本橋テープ株式会社様

●事業内容：細巾織物及び資材全般の加工、販売 ●従業員数：40名

ドリームマップで会社の夢を社長と一般職で共有 “テープ”の世界TOPブランドを目指して。

静岡県榛原郡吉田町の地場産業である「細巾織物」のメーカー、本橋テープ様。経営理念と中期経営計画をベースにしなが、社員と一緒に会社の将来像について語り合い、一枚のボードに描くチームドリームマップ。一緒に研修に参加された代表取締役社長の本橋真也さんにお話を伺いました。

チームで描くドリームマップとは・・・

チーム（または会社）で一枚のビジョン（目標）を描きます。ビジョンが社員に浸透し、組織の発展に直結します。

◆参加したことで、何を得たと思いますか？

弊社では3年毎に中期経営計画(合わせて単年度の計画)を作成していますが、目標は高くと思いつつも、現実には照らし合わせた目標設定になりがちでした。ドリームマップ研修では、現実を踏まえながらも、ビジュアルな素材を使い、イメージに沿った夢を描いたことで、完成した時のワクワク感、達成感が今までの目標設定と違う様な感じがしました。そのため、発想も柔軟になり、またチーム間でも良い雰囲気のまま、皆で共通の夢を作り出す事が出来た様に感じます。今は、ビジュアル化された夢を全社員が目に残る所に置き、事ある事に話をしています。



代表取締役社長
本橋真也さん

■チームドリームマップ研修概要

日程：1日（6時間）

参加者：4名(本橋社長・女性社員2名・男性社員1名)

【プログラム内容】

1. ドリームマップとは？
2. チームの強み分析（様々な視点・視野を持ち寄る）
3. チームのゴールイメージ（ゴールの共有・見える化）
4. ドリームマップ下書き（各自が役割認識を持つ）
5. ドリームマップづくり（ゴールの明確化・共有）
6. 行動計画（実行&改善のサイクル）
7. ドリームマップ発表（当事者意識をもつ）

◆ドリームマップを創って行動や気持ちにどんな変化がありましたか？

発想が現実には捕われずに、夢への想いが強くなった様に感じます。また、役職順に作られる計画とは違い、立場も性別も異なるグループで作った事で、自分の気づかなかった事や、他人の想いを知る事が出来る事で、日々の行動の視点が変わった様に思います。

◆次回はどんなタイミングでドリームマップを導入してみたいですか？

出来るだけ多くの社員にドリームマップ創りを体験してもらおうと思います。弊社では3年毎、中期経営計画を作っているので、次期(第8次中期経営計画)3年間で皆の夢を出来るだけ集め、第9次中期計画にその夢を盛り込んで行きたいと思えます。

◆本橋テープ様がドリームマップで描かれた「夢」

●2019年4月を目指して描いた夢

『テープと言えば細幅織物。テープと言えば本橋テープ
世界へ発進!! JAPAN BRAND』

●マイルストーン

[2016年]

メディアで頻りに取材されている/アンテナショップ開店
一般の方が気軽に会社に訪れるようになっている

[2017年]

国が推進している地域資源活用施策の地域資源(鉱工業品)に吉田町・牧之原市がテープ(細幅織物)の産地として認定されている

[2019年]【社会貢献】

町内でテープに関わる仕事が増え、雇用が増えている。障がい者雇用に繋がる仕事が増えている

工場見学など産業観光の客が増えている

■目標を描く4つの視点

